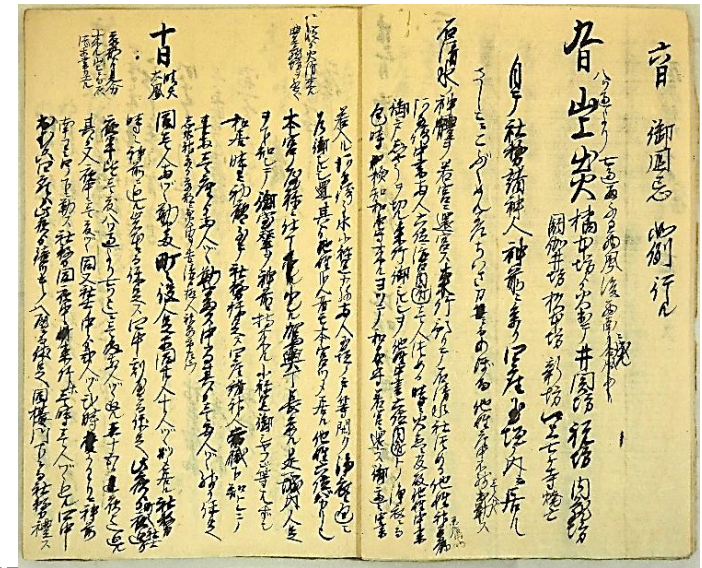


天保時代(1831~1845)には全国的な凶作によって百姓一揆等起こっていました。第12代将軍徳川家慶の時代に老中を務めた水野忠邦は天保の改革を開始しました。華美な祭礼や贅沢・奢侈はことごとく禁止されました。出口修さんは江戸時代の天保13年(1842)の八幡での出来事を社士の河原崎家の日記から紐解いて下さいました。その日記には、質素にせよ、派手な着物を着るな等のお触れのことを書かれています。又、食べ物で贅沢できないので鶏が捨てられていたり、太鼓をたたかない高良神社の太鼓祭りで寂しかったそうです。貨幣の金の含有量が多いので含有量を減らす通貨改鑄で「貨幣を持っていたら出さない」とあったが中々進まなかったそうです。



1759年河原崎主水『日記』  
(ネットより)



- ① 日時 2026年3月19日(木)13時30分~
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20

(TEL&FAX) 075-983-3664

(E-MAIL) [yawata@marugotokan.net](mailto:yawata@marugotokan.net) 作られた  
ホームページは <http://marugotokan.net/>  
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。